

(仮称)淡海クリーンセンター甲賀だより No. 3



2003年11月
財団法人 滋賀県環境事業公社

(仮称)淡海クリーンセンター甲賀の建設に向けて、10月15日に地権者の方々に対する説明会を開催させていただきご協力とご理解をお願いし、現在、計画予定地の測量を実施中です。

また、10月20日には新しく議員になられた県議会議員の方々による現地視察があり、施設計画の内容や運営方針について説明を行いました。

今後とも、安全で安心できる産業廃棄物最終処分場の設置に向けて事業の推進を目指してまいりますので、地域の皆さん方のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。



現地測量風景



県議会議員の方々による現地視察

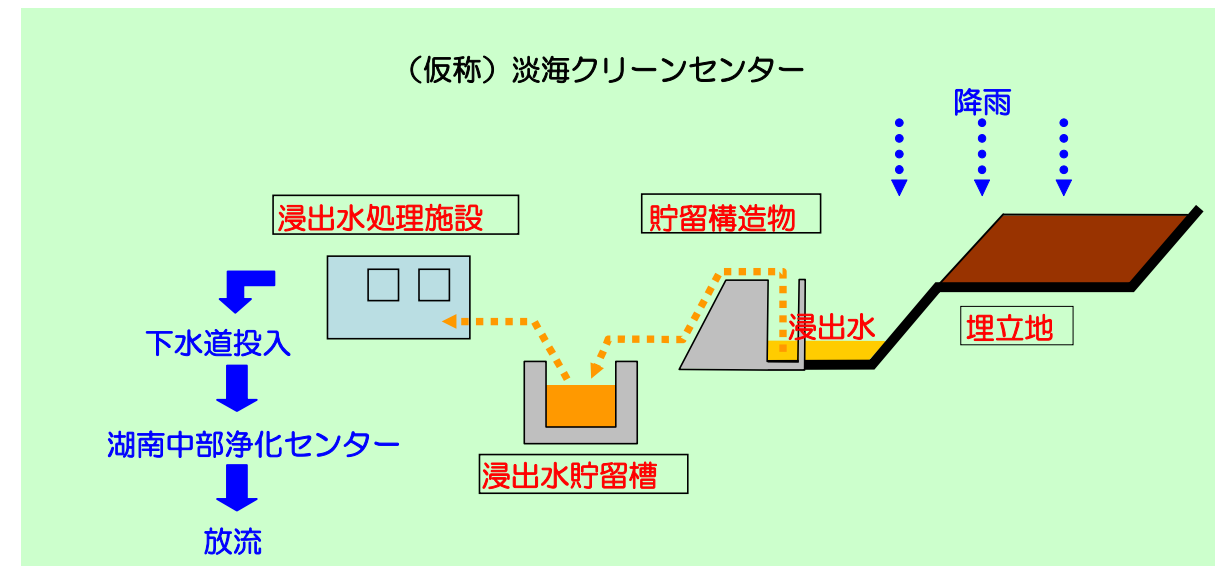
今回は、前回に引き続き、(仮称)淡海クリーンセンター甲賀の施設概要のうち浸出水処理などについてお知らせいたします。

浸出水処理

浸出水の発生から処理水の放流までの流れ

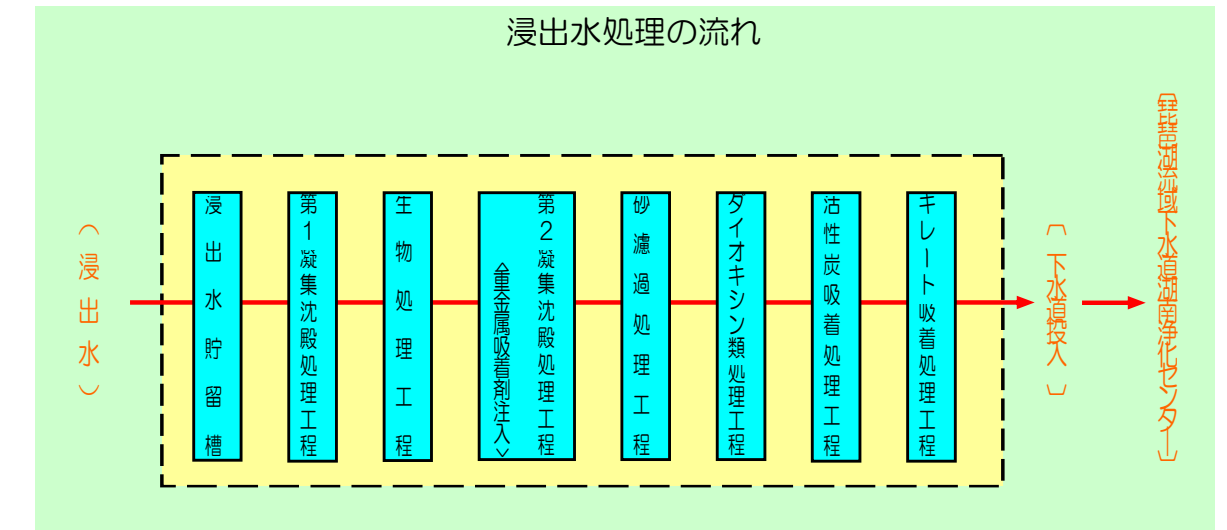
埋立地より発生する浸出水は、水質上問題のないように浸出水処理施設で適正に処理した後、河川ではなく、下水道へ放流することになっています。

財団法人滋賀県環境事業公社は、県民の生活環境保全のために県内の産業廃棄物の適正な処理を公共関与により行うことを目的とし、県・市町村・関係事業者の出資で設立したものです。



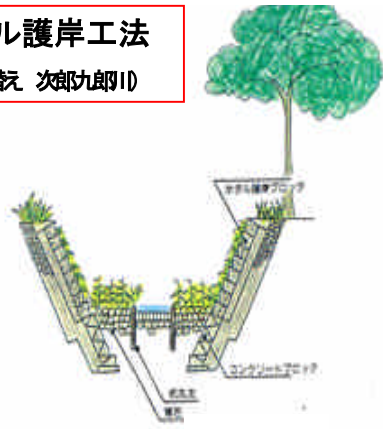
浸出水処理

浸出水の処理は、浸出水の原水を、下水道に投入してもよい水質になるまで処理を行います。また、浸出水処理施設の最大処理能力は、浸出水調整設備の調整能力と併せ、100年に1回起こる確率の雨に対しても処理可能な能力としています。

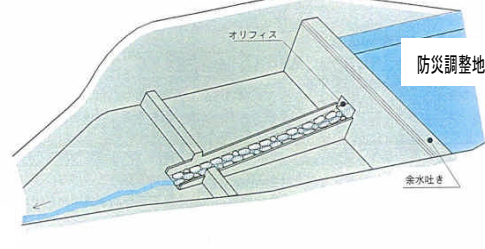


- 1) 浸出水貯留槽-----埋立地から導水された浸出水の水量を調整するとともに、水質の均一化を行います。
- 2) 第1・2凝集沈殿処理工程---凝集剤などを注入し、水中に浮遊している 汚れを沈殿させ取り除きます。
- 3) 生物処理工程-----微生物により水中の汚れを取り除きます。
- 4) 砂濾過処理工程-----砂層で微細な汚れを取り除きます。
- 5) ダイオキシン類処理工程---汚れの中のダイオキシン類を分解します。分解には紫外線やオゾンなどが利用されます。
- 6) 活性炭処理工程-----匂いや色の成分を取り除きます。
- 7) キレート吸着-----水中の金属類などを樹脂に吸着させることにより、取り除きます。

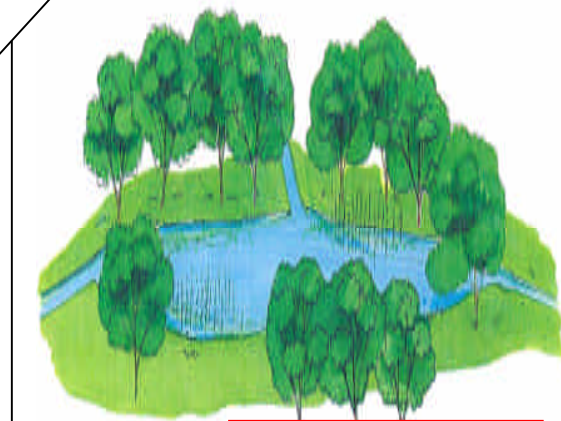
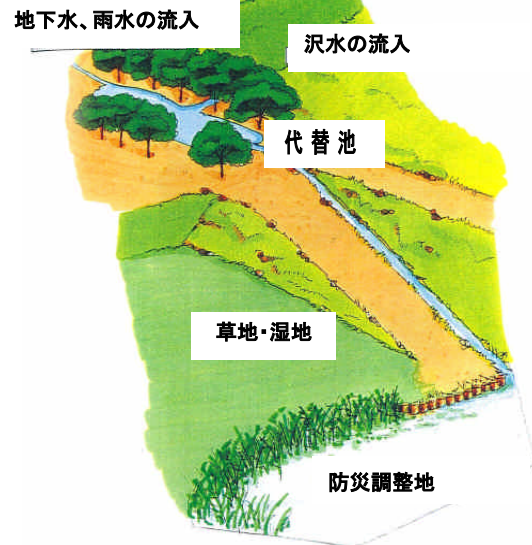
ホタル護岸工法
(付け替え 次郎丸川)



水生動物の移動通路(防災調整池の水は、埋立エリア以外の雨水等であり、廃棄物の浸出水ではありません)

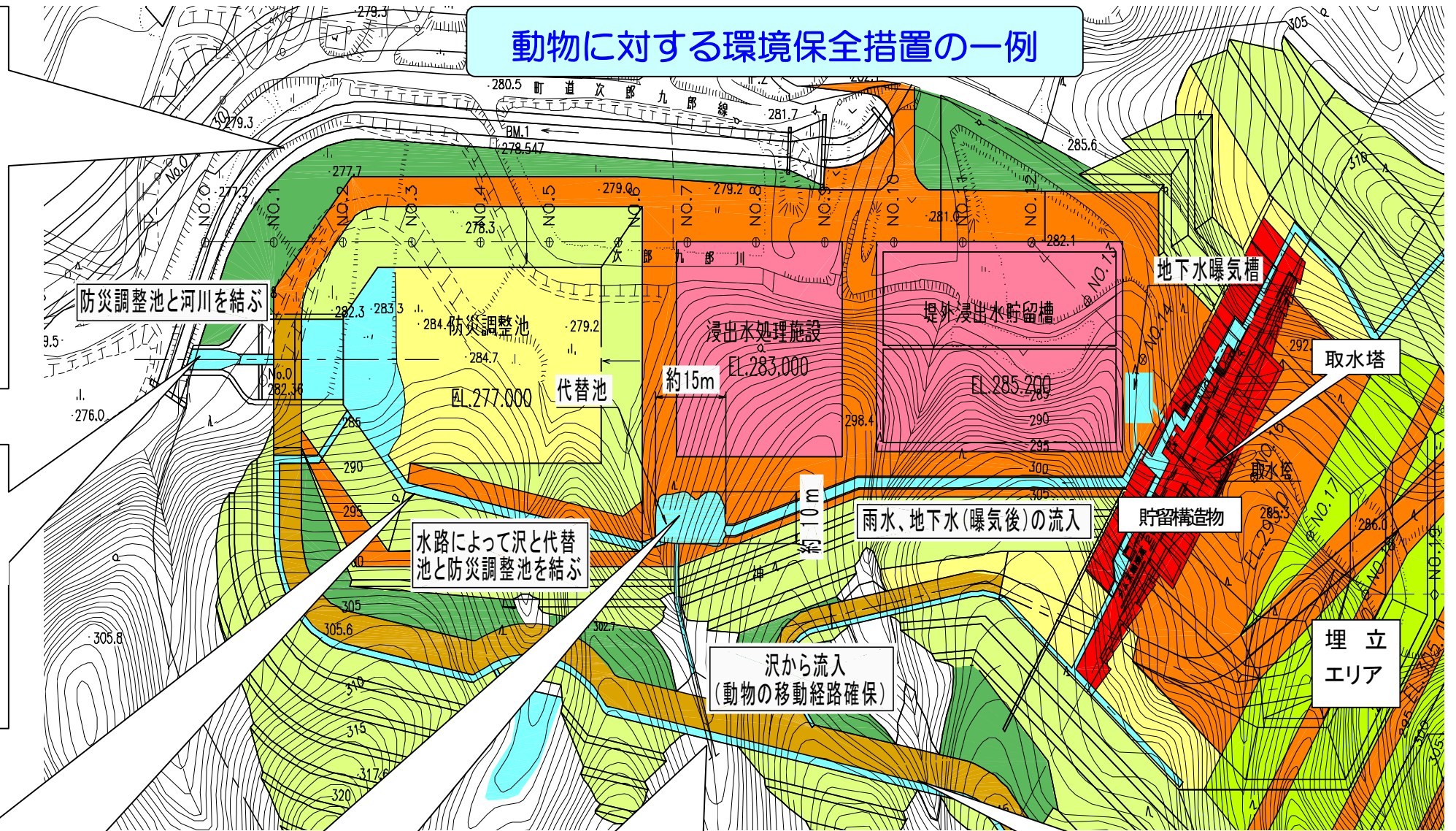


防災調整地周辺予想図



代替池周辺予想図

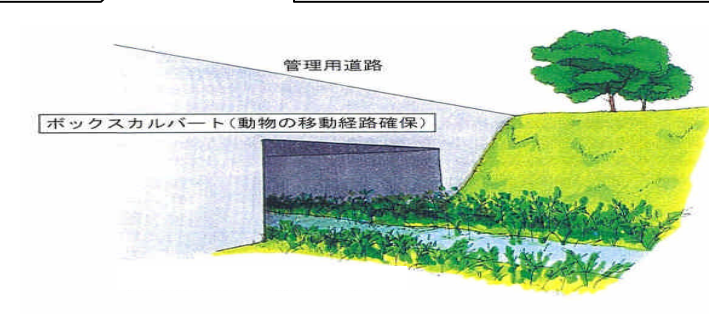
動物に対する環境保全措置の一例



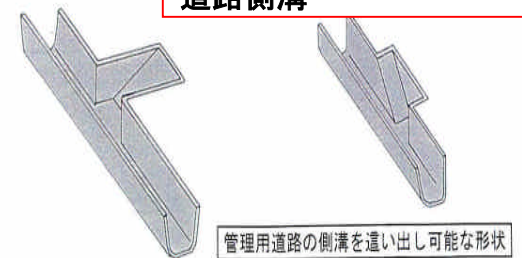
水路によって沢と代替池と防災調整池を結ぶ

沢から流入
(動物の移動経路確保)

動物が這い出し可能な
道路側溝



ボックスカルバート(動物の移動通路)



発行：財団法人滋賀県環境事業公社 甲賀支社
住所：甲賀町大字大原市場744
電話番号：0748-88-9191
FAX番号：0748-88-6322
メールアドレス aef88910@tree.odn.ne.jp
ホームページ <http://ice.candy.ne.jp/~ie-kankyo/>